

12月定例会最終日 高校生医療費の県助成で討論



米原市民報

日本共産党米原市会議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市会議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

12月定例会12月22日最終日、討論と採決が行われました。賛否が分かれた議案は次のとおりでした。再審法の改正の意見書については、細野議員が退席されましたが、全会一致で請願を採択し、意見書についても可決されました。

12月定例会最終日

最終日、高校生の医療費について県が助成するとして米原市福祉医療費助成条例等の一部を改正する条例について反対討論を天翔クラブ磯谷議員が行いました。論点は①今回の改正は市長会が要望している内容と異なること。②県下の市町で小中学生の助成が統一していない小中を飛び越して高校生に県が助成することは混乱を招きかねない。③米原市は県に先んじて10月1日から高校3年生まで無料化を延長するとされた。1年ごとに延長する方策も提案していた。④市が本年10月から実施しており、来年4月から県制度として実施することは混乱と新たな負担を招くことにならないかと主張でした。

再審法請願、全会一致で採択

最終日、高校生の医療費について県が助成するとして米原市福祉医療費助成条例等の一部を改正する条例について反対討論を天翔クラブ磯谷議員が行いました。論点は①今回の改正は市長会が要望している内容と異なること。②県下の市町で小中学生の助成が統一していない小中を飛び越して高校生に県が助成することは混乱を招きかねない。③米原市は県に先んじて10月1日から高校3年生まで無料化を延長するとされた。1年ごとに延長する方策も提案していた。④市が本年10月から実施しており、来年4月から県制度として実施することは混乱と新たな負担を招くことにならないかと主張でした。

共産党議員団は賛成へ

このような立場で積極的賛成ではないが賛成しました。今後、小中学生に対する医療費助成について県の助成を強く求めて行きたいと考えます。

高校生無料化は市民の願い

討論で主張された論点①②については、本来小・中学生の医療費助成について県と市町が協力して無料化を実施すべきであり、就学前の子どもたちの無料化には県と市が協力して2分の1ずつ負担してきました。今回、小中学生の医療費については市町まかせで、高校生のみ県が負担することは問題があると考えます。しかし今回、

議員名	会派名	第77号福祉医療費条例一部改正案	第81号米原福祉センター指定管理の指定	請願2号再審法改正意見書
山脇正孝	日本共産党市議団	○	○	○
藤田正雄	日本共産党市議団	○	○	○
山口久志	天翔クラブ	○	○	○
鹿取和幸	天翔クラブ	○	○	○
磯谷晃	天翔クラブ	×	×	○
矢野邦昭	天翔クラブ	議長	議長	議長
今中力松	天翔クラブ	○	○	○
中川松雄	天翔クラブ	×	×	○
鏑田明	天翔クラブ	×	×	○
中川雅史	政策研究会マイバラ	○	○	○
堀江一三	政策研究会マイバラ	○	○	○
山本克巳	政策研究会マイバラ	○	○	○
吉田周一郎	政策研究会マイバラ	○	○	○
振角大祐	無党派	○	○	○
細野正行	無党派(公明党)	○	○	退席
結果		可決	可決	採択

雑感

今、自民党派閥の政治パーティー券裏金問題が、自民党が揺れています。発端となったのが昨年の「しんぶん赤旗日曜版」の報道からです。企業は多くのパーティー券を買い、政府自民党は政策や予算で答える。まさに昔からの金権汚職政治です。しかしこの裏金は何に使われているのか、それを知りたい。国会議員はその「裏金」で、選挙の買収、個人の飲み食いに多くが使われているのではないかと疑わざるを得ません。また地方議員にも多くが渡されているとも伝えられています。受け取った側も何に使ったのか、このさい明らかにすべきです。政光には多くの税金(政党助成金)が使われています。政党助成金を受け取らない日本共産党が光ります。皆さんの支援で支えられています。(前号民報で「長浜市は9万3千円」は「米原市」の誤りです。訂正します。)

